

ケーブル技術ショー2019 において4Kハイブリッドキャストを活用した4Kコンテンツ配信を実演展示

この度、ミハル通信株式会社（本社 神奈川県鎌倉市／代表取締役社長 中村俊一※古河電工グループ）は、6月19日～20日に開催されるケーブル技術ショー2019（東京国際フォーラム 主催 （一社）日本CATV技術協会／（一社）日本ケーブルテレビ連盟／（一社）衛星放送協会）に出展いたします。当社の最新のヘッドエンド装置、FTTHシステム機器を展示いたしますが、新たな試みとして4Kハイブリッドキャストを活用した4Kコンテンツ配信の実演展示を行います。この実演展示のシステム構築については、株式会社メディアキャスト（本社 東京都品川区／代表取締役 杉本孝浩）、株式会社ネクストウェーブ（本社 東京都港区赤坂／代表取締役 尾崎常道）の両社よりご協力いただくことで実現の運びとなりました。

昨年12月より新4K8K衛星放送が開始されましたが、地上波ではまだ4Kコンテンツが配信されないなか、ブロードバンドを活用した新たな放送サービスが期待されています。その中でハイブリッドキャストを活用した4Kコンテンツ配信が注目されており、すでに放送事業者、ケーブルテレビ事業者などによって実証実験が進められています。このシステムの特長は動画配信技術として普及しつつあるMPEG-DASHを使えば、専用のプレーヤーを使わずにハイブリッドキャスト対応4Kテレビで4Kコンテンツを配信できることです。

当社ではケーブルテレビの伝送システムを効率的に使うことで4K同時配信が可能になるのではないかと検討をすすめ、今年のケーブル技術ショー2019で、実演展示にて発表いたします。

記

■ 主なデモ構成システム機器

- ① 4K HEVC エンコーダー（ミハル通信）



■ デモ内容

- ① 4Kハイブリッドキャストを使ったシステムで、地上波システム（ブース内での構築した模擬環境）にて4Kコンテンツを配信。実際に4Kテレビのリモコン操作より4Kコンテンツを視聴できる。
- ② ハイブリッドキャストの特長であるマルチアングルを活用した4Kコンテンツ視聴をデモ体験可能。
- マラソン、野球などのライブ中継は、通常は放送局側でカメラ切替操作をおこない、視聴者はその画面をご覧になっています。
 - 今回のデモではリモコンのdボタンでマルチアングル映像から1つの映像を選択できるデモを予定しており、実際に体験いただく予定です。これが導入できれば、たとえば野球中継やマラソン中継で、視聴者が見たい映像を選択でき、新しいテレビ視聴のサービスを提供できることにもなります。

以上

■ 株式会社メディアキャスト

事業概要：デジタルデータ放送関連のシステム開発・コンテンツ制作・コンサルティング・教育・サービスを行う国内唯一のデータ放送専門会社

MEDIACAST
www.mcast.co.jp

■ 株式会社ネクストウェーブ

事業概要：映像サービスを中心として、配信プロトコル技術やモバイルアプリケーション開発、ストリーミング技術を中心とした配信プラットフォーム開発

NEXT WAVE

ミハリ通信について

ミハリ通信は、ケーブルテレビ草創期の1955年に誕生したCATV、通信、映像関連機器メーカーで、創業64年を迎えました。創業まもなく鎌倉に工場を構え、歴史ある鎌倉より最新の製品をお届けしています。設計から製造までを一貫して自社で行なうことを基本とし、高品質・短納期を実現してお客様のご要望にお応えして参りました。今までもこれからも“ヒト・モノづくり”を連続と継承し続け、迅速性・信頼性・継続性をもって、革新的技術でお客様のご要望にお応えし続けて参ります。

〈本文書に関するお問い合わせ先〉

ミハリ通信株式会社 総務部 広報担当

〒247-8538 神奈川県鎌倉市岩瀬 1285 TEL 0467-44-9111 FAX 0467-46-1615

メールアドレス mhr_eigyo@miharu.co.jp ホームページ <https://www.miharu.co.jp/>